

ワイヤレス LAN のコントローラ (WLC) 用の Microsoft Windows 2003 DNS サーバの検出の設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ワイヤレス LAN コントローラ DNS ディスカバリ](#)

[WLC ディスカバリ用 Microsoft Windows 2003 DNS サーバの設定](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

シスコの Wireless Unified Architecture が展開されている場合、Cisco Aironet Lightweight アクセスポイント (LAP) では、ワイヤレス LAN コントローラ (WLC) がその LAP とは別のサブネットにある場合でも、DNS サーバを使用して WLC を検出できます。

このドキュメントでは、WLC ディスカバリ用の Microsoft Windows 2003 DNS サーバを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- DNS サーバに関する基礎知識
- Lightweight アクセスポイント プロトコル (LWAPP) に関する基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中

のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ワイヤレス LAN コントローラ DNS ディスカバリ

LAP はお客様のドメイン ネーム サーバ (DNS) を介してコントローラを検出できます。アクセスポイント (AP) でこれを実行するには、**CISCO-LWAPP-CONTROLLER.localdomain** への応答としてコントローラの IP アドレスを返すよう、DNS を設定する必要があります。ここで、localdomain は AP ドメイン名です。AP は、DHCP サーバから IP アドレスと DNS の情報を受信すると、DNS に接続して **CISCO-LWAPP-CONTROLLER.localdomain** を解決します。DNS からコントローラの IP アドレスのリストを受信すると、AP はコントローラに検出要求を送信します。

AP では、**CISCO-LWAPP-CONTROLLER.localdomain** の DNS 名の解決を試みます。AP が、1 つ以上の IP アドレスでこの名前を解決できる場合、AP は解決された IP にユニキャスト LWAPP ディスカバリ メッセージを送信します。LWAPP ディスカバリ要求メッセージを受信する各 WLC は、ユニキャストの LWAPP ディスカバリ応答を AP に返信します。

次のセクションでは、WLC ディスカバリ用の Microsoft Windows 2003 サーバを設定する方法について説明します。

WLC ディスカバリ用 Microsoft Windows 2003 DNS サーバの設定

WLC ディスカバリ用 Microsoft Windows 2003 DNS サーバを設定するには、次の手順を実行します。

1. [Start] -> [Run] をクリックします。
2. **mmc** コマンドを入力して、[OK] をクリックします。[Microsoft Management Console] ウィンドウが表示されます。
3. [File] メニューから、[Add-Remove Snap-in] を選択します。
4. [Add/ Remove Snap-in] ウィンドウで、[Standalone] タブを選択して [Add] をクリックします。
5. [Add Standalone Snap-in] ウィンドウで、[DNS] を選択して [Add] をクリックします。次に、[Close] をクリックして [Add/ Remove Snap-in] ウィンドウに戻ります。[OK] をクリックします。DNS が [MMC] ウィンドウに表示されます。
6. 「+」記号を展開して、ドメイン コントローラを表示します。
7. ドメイン コントローラの横にある「+」を展開して、設定されている [Event Viewer]、[Forward Lookup Zones]、[Reverse Lookup Zones] を表示します。
8. [Forward Lookup Zones] の横にある「+」を展開します。リストされているドメインが表示されます。この例は [TLS.wireless] を示しています。
9. ドメインを選択して右クリックします。[New Host (A)] をクリックします。新しいウィンドウが表示されます。
10. 名前のフィールドに **CISCO-LWAPP-CONTROLLER** と入力します。コントローラの管理

インターフェイス IP アドレスを入力して、[Add Host] をクリックします。この方法で、DNS サーバで CISCO-LWAPP-CONTROLLER ホスト名がコントローラの管理インターフェイスの IP アドレスにマッピングされます。これで、LAP がコントローラのディスカバリーを起動し実行する場合に、AP が DNS 名 CISCO-LWAPP-CONTROLLER.localdomain の解決を試みるようになります。一旦 WLC の管理 IP アドレスが認識されると、コントローラにユニキャスト LWAPP ディスカバリ要求メッセージが送信され、コントローラはディスカバリ応答を返します。完了したら、参加のプロセスを開始します。LWAPP ディスカバリと参加のプロセスに関する完全な詳細については、『[ワイヤレス LAN コントローラ \(WLC \) への Lightweight AP \(LAP \) の登録](#)』を参照してください。

トラブルシューティング

AP は、DNS サフィックスが DHCP サーバから AP に供給されていない場合に、CISCO-LWAPP-CONTROLLER.cisco.com を検索します。

これは既知の問題です。LWAPP IOS AP は、起動すると CISCO-LWAPP-CONTROLLER ドメイン名の解決を試みます。

- まず、CISCO-LWAPP-CONTROLLER の解決を試みます。
- 次に、CISCO-LWAPP-CONTROLLER.cisco.com の解決を試みます。

これは、AP にデフォルトのドメイン サフィックスが設定されていない限り行われます (たとえば、DHCP サーバからなど)。この問題を解決するには、デフォルトのドメイン サフィックスを供給するように AP の DHCP サーバを設定します。

関連情報

- [Wireless LAN Controller \(WLC \) への Lightweight AP \(LAP \) の登録](#)
- [Lightweight Cisco Aironet アクセス ポイント用 DHCP オプション 43 の設定例](#)
- [Cisco 440X シリーズ ワイヤレス LAN コントローラの配備](#)
- [Cisco ワイヤレス LAN コントローラ コンフィギュレーション ガイド、リリース 5.0](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)